

## 8. 環境研究総合推進費 (イノシシ、ニホンジカ等の適正かつ効率的な捕獲 個体の処理および完全活用システムの開発)

宮木廉夫・宮原治郎

本プロジェクトは、県農林技術開発センターを中核機関として、株式会社一成、(国研)森林総合研究所、宇都宮大学、兵庫県立大学、ハラサングョウ株式会社、(公社)長崎県食品衛生協会、総合水産試験場が参画し、捕獲個体の処理、減容化、再資源化の一貫体系システムを開発し、捕獲促進や地域資源創出による野生

動物の適正管理と里地里山の保全を図ることを目的とする。本年度は、化製処理されたイノシシミールが、飼料原料として有効か検討するため、本ミールを混合したシングルモイストペレットを作製し、トラフグ 1 才魚及びブリ 0 才魚で飼育試験を行った。

(担当：宮原)

